授業科目　相談援助演習 II

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
河野　聖夫	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

ソーシャルワーク実践の基礎となる相談援助技術を学ぶとともに、事例研究などを通して援助実践に必要な援助技術や実践過程の展開方法を修得する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．相談援助面接の技法など、ソーシャルワーク実践の基礎となる技術を学ぶ。
2．ソーシャルワーク実践の展開過程を理解し、支援の基本的視点を身につける。
3．ソーシャルワークの実践事例を通して、ソーシャルワーカーが備えているべき観察力、理解力、分析・判断力、応用力、計画・企画力などについて考える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソーシャルワーク実践の基本技術を学ぶ（相談援助面接ほか）		事例検討、模擬面接、グループワークなど
2	同上		同上
3	同上		同上
4	同上		同上
5	同上		同上
6	ソーシャルワーク実践の展開過程の構造を理解すると共に、その過程で適用される援助技術を学ぶ		事例検討、ロールプレイ、グループワークなど
7	同上		同上
8	同上		同上
9	同上		同上
10	同上		同上
11	事例研究で総合的な援助展開方法を学ぶと共に、カンファレンスや事例研究の方法論を学ぶ		事例検討、グループワーク、模擬会議　など
12	同上		同上
13	同上		同上
14	同上		同上
15	まとめ		考察　自己課題の確認

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）				
参考書	ケースワークの原則 ： 援助関係を形成する技法，新訳改訂版	フェリックス・Ｐ．バイステック	誠信書房	2006・2,000 円＋税
	ワークブック　社会福祉援助技術２　個人とのソーシャルワーク	山辺朗子	ミネルヴァ書房	2003・1,700 円＋税
その他の資料	必要に応じて資料を配付する			

【評価方法】

出席状況、受講態度、レポートなどを総合的に評価する。

【履修上の留意点】

継続的な取り組みなので、特に事情の無い限り、欠席は認められない。